



事業名 おおよどSDGsプロジェクト



SDGs商品開発×万博

取組の概要

奈良県の吉野エリアの入口に位置する大淀町では、町と大淀町商工会が中心となり、町内事業者の5年後、10年後を意識した経営力の強化を目的に「誰ひとり取り残さない、持続可能な社会の実現」というSDGsの理念に沿った商品・サービスの開発や、大淀町の課題解決にチャレンジする事業所による「おおよどSDGsプロジェクト」をスタートしました。

新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに生活者の価値観が変わった昨今、SDGsプロジェクトを通じて地域のチャレンジを発信し、2025年大阪・関西万博に来場された人が、吉野エリアにも惹きつけられるような取組みを推進していきます。

GO!プロジェクトの推進



がんばるおおよど!お店応援プロジェクト(略称「GO!プロジェクト」)は、新型コロナウイルス感染症など社会的影響を受けながらも、大淀町でお店を維持し、将来につなげようとする“がんばる”事業者さんを応援するために、大淀町と大淀町商工会の連携事業として立ち上がりました。

このプロジェクトでは、相談窓口のワンストップ化をはじめ、新規事業や新商品開発、業態改革に取り組む事業者に対して専門家による経営相談を行っています。また、地域の人々が地域の事業者を応援できる仕組みづくりとして、特設サイトから地域の魅力あるお店情報の発信も進めています。

そのような活動を更に発展させ、地域全体の魅力発信に繋げるため、大淀町の地域資源に着目したSDGsに取り組んでいます。

地域資源×SDGs



大淀町と大淀町商工会では5年後、10年後を意識した経営力の強化を目的に「誰ひとり取り残さない、持続可能な社会の実現」というSDGsの理念に沿った商品・サービスの開発や、町の課題解決にチャレンジする事業所による『おおよどSDGsプロジェクト』を新たにスタートしました。

大淀町の地域資源である大阿太高原の“樹上完熟の二十世紀梨”、全国でも数少ない伝統製法で作られる“天日干しの番茶”、そして吉野の杉や桧の間伐材を活用し、廃棄・焼却されるものを有効利用することも含めて、新たな商品開発にチャレンジしています。

贈る人も贈られる人も大淀の粋を感じる食品や生活雑貨を創造し、そのような商品開発を通じてSDGsの意識を高める活動を推進します。

万博の先の持続可能な社会に向けて



万博は世界中からたくさんの人やモノ、技術が集まります。

私たちは、2025年に開催されます大阪・関西万博に来場された人が、吉野エリアにも惹きつけられるよう、モノだけでなく、地域そのものもSDGs商品となれるようなチャレンジを進めていきます。

また、大淀町の豊かな自然と融合した文化や歴史を次世代に繋いでいくためには、地域に関わる人々の交流を活発にしていけることが、これまで以上に重要になります。

大阪・関西万博を好機と捉え、この場所が生み出す技術を活かした新たな商品の開発や、地域の魅力発信を行いながら、さらなる持続可能な社会づくりに向けて、取組みを加速していきます。



問い合わせ先:奈良県大淀町(大淀町役場建設環境部建設産業課)
担当者:中迫
URL:<https://www.town.oyodo.lg.jp>
Mail: kensetsusangyou@town.oyodo.lg.jp

